



はしもと近未来予想図が開催されました

第2回 地域の活性化と定住できるまちづくりの開催

■開催日：2016年 12月3日（土） ■場所：橋本市民会館1F（ギャラリー）

「はしぼう」

平成 28 年 12 月 3 日（土）に、地域の活性化と定住できるまちづくりについて「住んでよかった住みたくなるまち」となるよう市民の方々で様々な意見を出し合いました。

当日は、12 名の方が参加していただきました。会議は、3 つのグループに分かれてテーマ毎に話し合い、様々な意見・提案が出されました。最後に各班で意見のまとめを発表していただきました。



各グループから出された主な意見

「づくりについて」

テーマ1 「地域の活性化と定住できるまちづくり」について

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

<産業について>

- ・市内での雇用の場が少ない。
- ・若者の仕事がない。
- ・子育てしながら働ける環境が少ない。
- ・橋本特有の農産物、ブランドがない。
- ・地場産品の周知が地元浸透していない。
- ・大手企業が橋本から出て行っている。
- ・橋本駅前商店街の衰退。 等

<観光について>

- ・ここという観光スポットが無い。
- ・黒河道などの案内板の整備が必要。
- ・外への情報発信。（PR不足）
- ・年間通じて行きたくなる場所（スポット）が少ない。

等

【当日の進行】

- ◇開催のあいさつ
- ◇「橋本が大好き～橋本が大好きになる住んでよかった住みたくなるまちへ～」について説明
- ◇ワークショップの進め方について説明
- ◇グループ討議（班別）

「地域の活性化と定住できるまちづくり」

テーマ1

①橋本市の将来像について

「将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて」

テーマ2

②将来像の実現方法

「そのためには、こんな事をしたらよいと思うことや自分達にもできそうなことについて」

- ・班ごとに意見を出し合う
- ・各班の発表を行い全体で共有する

◇全体のまとめ

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

<産業について>

- ・大手企業やITベンチャー企業等が橋本に移転できるまちを目指す。
- ・女性が働きやすいまちを目指す。
- ・産業の活性化を目指す。
- ・高野口などの地場産業が元気なまちを目指す。
- ・駅前にカフェなど、にぎやかなまちを目指す。
- ・後継者が生まれる産業づくりを目指す。等

<観光について>

- ・駅前が観光客でにぎわっているまち。
- ・また来たい。もう少し滞在したいと思えるまちを目指す。
- ・年間通じてイベントで賑わうまちを目指す。
- ・応其上人や歴史を大切にしたいまち。

等

現状と課題、問題点や困っていることはなにか

<定住について>

- ・若者からすると魅力が弱い。
- ・空き家の情報が少ない。
- ・空き家バンクを知っている人が少ない。
- ・空き家を提供してもらえないので、移住者が来ない。
- ・橋本に住み、橋本で働きたい人が多い。
- ・定住してもらうには、何となく中途半端。
- ・車が無いと移動が不便。
- ・大阪からのアクセスが悪い。
- ・リタイヤした方の移住は、バスなどの交通環境が重要。

等



現状を少しでも良くするために来年度以降 (将来) はこういう姿をめざしたい

<定住について>

- ・子ども達がにぎやかで、女性が働きやすいまち。
- ・便利な田舎まちを目指す。
- ・空き家を生かした、田舎生活が出来るまち。
- ・文化、教育、医療コミュニティーの充実したまち。
- ・老若男女がコミュニケーションを通じて生きがいのある地域づくり。
- ・移住者の受け入れ体制があるまち。
- ・新旧住民の交流が盛んなまち。

等



「子育てから始まる地域づくりについて」

テーマ2 「橋本市の将来像を実現するためについて」

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

<産業について>

- ・企業誘致の拡大。
- ・成長力のある企業を誘致。
- ・ITや農業を中心とした企画誘致。
- ・テレワークの活用。
- ・農業、工芸品等の産業体験ツアーを作る。
- ・「日本一」となる橋本を活かしたものづくり。
- ・駅前の空き家等を活用したおしゃれな飲食店の誘致
- ・店主の意識改革。
- ・高齢者も働ける企業への支援。
- ・新たに起業する人への支援。

等

将来像を実現するために(個人として・グループ、友達・団体や組織)でできそうなこと

<個人やグループとしてできそうなこと>

- ・働ける高齢者に声をかける。
- ・花など植えまちをカラフルにする。
- ・もう一度橋本を良く知る。

<団体や組織できそうなこと>

- ・基金などを作っているような支援をする。
- ・飲食や観光などのパンフレットづくり。

等

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

<観光について>

- ・ 駅前の活性化事業。
- ・ 国際化を踏まえた観光客受入れ。
- ・ 高野山、吉野など広域的な連携。
- ・ 留学生を活用したインバウンド。
- ・ 宿泊施設の誘致。
- ・ わが町自慢や特集など広報発信の強化。

<定住について>

- ・ 子ども達が戻ってくる仕組みづくり。
- ・ 学校単位で地域コミュニティの事業を強化する。
- ・ 橋本のまち案内や歴史体験ツアーの実施。
- ・ 教育の充実、子育ての支援。
- ・ 3世代同居、近居を推進。
- ・ 若者が参加が出来るよう、自治会活動の見直し。

等



将来像を実現するために（個人として・グループ、友達・団体や組織）できそうなこと

<個人やグループとしてできそうなこと>

- ・ SNS を通じて、橋本市の良さを発信。
- ・ 空き家利用の交渉。
- ・ ボランティアとしての支援。
- ・ 情報交換や交流。
- ・ 市外の友人に橋本の良さを伝える。
- ・ 一人では限界があるが、グループで知恵を出し合い情報交換する。
- ・ 地域コミュニティ間の交流や参加。

<団体や組織できそうなこと>

- ・ 団体から移住者を呼び込むこと。
- ・ 自治会規約の改正、意識改革が必要。
- ・ 個人が持っている文化資源などをジョイントしたイベントの開催。

等

